

令和3年度 天理中学校 学校評価 <教職員用>

令和3年度 天理中学校 学校運営計画			評価 A:きちんと取り組んでいる B:ほぼ取り組んでいる C:あまり取り組めていない D:全く取り組めていない	
重点目標	目標達成の方策		評価	○成果 と △課題
信条教育 「よふぼく」教師であることを常に自覚して、積極的に生徒に働きかける。	1	教師自らが道を求め、折に触れ神様のお話を取り次ぐ。	B	10月より学校参拝が再開され、週に一回ではあるが、生徒と教職員がそろっておつとめをつとめることができるようになった。また、身上や事情で悩む生徒のためにお願いつとめをつとめたり、けがや体調不良の生徒におさづけの取り次ぎをしたりする教員の姿をよく目にするようになった。神様の話を取り次ぐだけでなく、教員自らが信仰実践を率先して行うことができているのは大きな成果である。 昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症により、ひのきしんを実施する機会が少なくなっているが、今年度は2年ぶりに街頭ひのきしんを実施することができた。1年生はもちろん、2年生も初めての行事で戸惑う生徒も見られたが、教員自らがひのきしんを行う姿勢を生徒に示すことで、生徒とともに積極的に取り組むことができた。今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、行事や教理に触れる機会が少なくなることが予想されるが、よふぼく教師として生徒の手本となるようおつとめやおさづけの取り次ぎを実践できるようにしていきたい。
	2	朝の学校参拝を、生徒の手本となるようしっかりつとめる。	A	
	3	「おさづけ」の取り次ぎと「お願いつとめ」を積極的につとめる。	B	
	4	ひのきしんの活動に生徒とともに積極的に取り組む。	A	
生徒指導 積極的な生徒指導を行う。 規律ある生活習慣の確立をめざす。 いじめのない学校生活をめざす。	5	規律正しい学級づくりのため、授業終始の挨拶指導の徹底を行う。	A	本年度もすべての項目でA評価であった。服装や頭髪指導、遅刻への指導、問題行動に対して組織的対応をそれぞれの教員が心がけた成果であると考え。 いじめ問題等については、問題を担任一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を密にして、学年、また学校として組織的に対応していくことを再度確認した。普段から気になる生徒の様子を職員室等で報告し合う場面が多く見られ、教職員間の共通理解をスムーズに図れている。不登校生徒や欠席が続く生徒への対応も、家庭への連絡、家庭訪問をこまめに行い、適切な支援や働きかけに努めた。 部活動については、挨拶や礼儀の大切さを生徒たちに伝え、日々粘り強く指導を行った。また、10月から週に一回ではあるが学校参拝が再開され、境内地に入る前の一礼や無言昇降殿などの指導を徹底して行った。 交通ルールやマナーについては、登下校時、教職員が通学路の安全パトロールに当たってはいるものの、地域の方からご指導をいただくこともあり、登下校時の安全面も含めて、電車内でのマナー、自転車の乗り方、交通ルールについても、定期的に教育していく必要がある。 問題行動への対応については、初期対応が大切であるため、聴き取りの方法や手段等を、年度途中に再度確認し、教員間で共通理解を図った。また、保護者と協力して対応することが非常に重要になるため、今後もしっかりと保護者と連携する必要がある。 新型コロナウイルス感染症で大変な状況にもかかわらず、生徒が全体的に落ち着いて学校生活を送ることができている。今後も気を抜かず感染対策をしながら、日頃の学校生活における生徒の様子をしっかりと観察し、細かな変化を見逃さずに対応できるよう、日々の生徒指導を地道に進めたい。
	6	部活動指導における生活指導の徹底を図る。	A	
	7	問題行動において、学級・部・学年から学校全体としての組織的な対応を行うとともに、保護者との連携を密にしてすすめる。	A	
	8	服装や頭髪、時間、交通ルールなどのきまりを守らせ、規範意識の向上をめざして日常的に指導を行う。	A	
	9	挨拶・返事・言葉遣い・無言昇殿など、全教員が意識を統一して指導を行う。	A	
	10	遅刻指導などを通して、個々の生徒の心の動きに気づき、家庭訪問を行うなどきめ細やかな指導を図る。	A	
	11	いじめ問題の重大性を全ての教職員が認識し、学校長を中心に未然防止「いじめを生まない土壌づくり」を組織的に取り組む。	A	
12	いじめの態様や特質、原因、背景、具体的な指導上の留意点などについて、職員会議や校内研修などの場で取り上げ、教職員間の共通理解を図る。	A		
13	いじめ問題を、特定の教職員が抱え込んだり事実を隠したりすることなく、報告、連絡、相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。	A		
学習進路 基礎学力の充実と学習習慣の確立。 進路についての丁寧な指導をめざす。	14	基礎基本に重点をおき、くりかえし取り組むことの大切さを教える。	A	昨年度からICT機器を活用した授業を積極的に導入し、また、本年度は1人1台端末環境が整ったおかげで、休校になった際でもオンライン授業ができる態勢が整った。本年度も基礎基本を徹底し、追試や補習を行いながら、基礎学力を高める努力を行った。宿題の提出については、量や期限については、適宜検討が必要だが、粘り強く指導し、徹底させることで、宿題の提出が習慣化してきている。 進路については、1、2年生に天理高校の説明を担任が行い、本校の進路原則を促すことができた。また3年生には天理高校訪問や天理高校の情報をポスターで貼るなどし、生徒への意識づけを行うことができた。学習面の充実とともに、生徒が個々の徳分をいかす進路を考えられるように、本年度は新たな取り組みとして、2年生にライフプランニング授業を実施した。また日本版O-NETを使った職業調べの授業案の紹介を教員向けに行った。今後も学校教育全体を通じた進路学習の構築を図っていくことが必要である。粘り強く、関わっている教員すべてが情報交換しながら、生徒一人ひとりに合った進路開拓ができるよう取り組んでいきたい。
	15	適切な内容の課題を与え、やりとげさせる指導を行う。	A	
	16	管内学校などの進路情報を提供し、生徒の意識づけを図る。	A	
	17	個々の徳分に気づかせ、それをいかす方向で進路を考えさせる。	A	
研修 教員の授業力の向上をめざす。	18	研究授業を実施し、教員の授業技術を向上させる。	B	本年度は全教室に大型モニターが完備され、また、1人1台端末環境が整ったため、企業などから講師を招き、ICT教育を推進するための研修を行った。また、ライフプランニング授業を導入するための研修や天理大学の教授で公認心理師の先生をお招きし、生徒理解に関する研修を行った。次年度は、学校評価の結果を鑑み、研修はもちろん、さらに教員のICT関連の研究授業の実施も進めていく必要があると感じている。
	19	計画的な研修を行い、教員の継続的な資質向上を図る。	B	
人権教育 陽気ぐらし世界の実現達成に貢献しうる実践力をもった人間育成をめざす。	20	いじめなど、不合理・矛盾に気づき、正しいことが主張できる態度を育てる。	A	人権教育指導計画に基づいて、人権作文、各学期のいちれつきょうだい学習に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症対策の為、各教室でのいちれつきょうだい学習の取り組みとなったが無事実施することができ、生徒に対しての意識づけをすることができた。また人権作文の内容の中には、新型コロナウイルス関連に際しての医療従事者に対する差別や偏見などの作品が多く見られた。今後も学校生活において言葉づかいや時代にそぐわない偏見などに注視していきたい。いじめ対策については、毎学期、県教育委員会のアンケートや校内アンケートを通して、早期発見、対策に努めた。進路については、目標や夢に向けて自ら考え実行できる心を養い育てていけるよう、いちれつきょうだい学習を充実させていきたい。
	21	差別やいじめなどを排除し、人の立場に立って考え、行動できる力を身につけさせる。	A	
	22	自分の進路を開拓し、社会の発展に努める力量を育てる。	A	
教育相談 支援を必要とする生徒に対して、教師、保護者、カウンセラーおよびオアシスフレンドが連携を密にしながらサポートを行い、生徒個々の能力を伸ばしていく。	23	支援を必要とする生徒の把握につとめる。	A	本年度は、特別支援、保健室と連携をとり、不登校生徒や支援を必要とする生徒の把握に努め、サポートを行った。また、個々の現状について教員間で情報共有できていることが全体の評価にもつながっていると感じている。今後はスクールカウンセラーともさらに連携を図りたい。毎年の課題であるが、支援を必要とする生徒の状況や内容が多様化し、教員一人にかかる負担や場所の確保が難しい状況がある。これまで以上に、組織的な支援を行い、社会的自立や授業復帰へ向けた支援体制を継続したい。また、学習についても多様な教育機会を確保できるよう、ICT等を活用した学習支援についても取り組んでいくことが課題である。
	24	支援を必要とする生徒へ、迅速かつ適切に対応し、必要に応じてカウンセリングにつなげる。	A	
	25	適切な支援を行うため、合同カンファレンスを行う。	B	
	26	支援を必要とする生徒への、有効な別室の活用を進める。	A	
美化 「天中は美しい学校です」と言える学校をめざす。	27	感謝の心で活動を実践するよう指導する。	A	本年度も全ての項目でA評価であった。日々感謝の心で自ら進んで一生懸命清掃することを指導することが、美しい学校だと感じることができるとつなげていくため継続していきたい。また、綺麗な状態を維持できるような美化活動を今後考えていきたい。
	28	一生懸命行う素直な心と、自分で仕事を見つけ進んで努力できるように指導する。	A	
	29	美しい学校だと感じることができ環境をみんなで創る。	A	